

令和 3 年 度
(2021 年度)

決 算 審 査 意 見 書

浅川清流環境組合監査委員



浅川監第12号

令和4年(2022年)9月12日

浅川清流環境組合

管理者 大坪冬彦様

浅川清流環境組合監査委員 福島基

浅川清流環境組合監査委員 渡辺ふき子

令和3年度浅川清流環境組合決算審査意見について

地方自治法（昭和22年法律第67号）第233条第2項の規定に基づき、審査に付された令和3年度浅川清流環境組合決算を審査した結果、次のとおり意見を付します。

目 次

第 1 審査の概要	-----	1
1 審査の種類	-----	1
2 審査の対象	-----	1
3 審査の期間	-----	1
4 審査の着眼点及び実施内容	-----	1
第 2 審査の結果	-----	2
1 総括	-----	2
2 一般会計	-----	3
(1) 歳入決算状況	-----	3
① 款別歳入状況	-----	3
② 歳入決算状況の内訳	-----	4
(2) 歳出決算状況	-----	5
① 款別歳出状況	-----	5
② 歳出決算状況の内訳	-----	6
③ 予備費充当の状況	-----	6
④ 予算の流用状況	-----	6
3 財産に関する調書	-----	8
(1) 土地及び建物	-----	8
(2) 基金	-----	8
第 3 意見・要望等	-----	9

注 記

イ 文中に用いる金額は、原則として千円単位で表示し、単位未満を四捨五入した。

そのため、合計等と符合しない場合がある。

ロ 比率(%)は、原則として小数点以下第2位を四捨五入した。

ハ 構成比率については、内訳の計が100.0%とならない場合がある。

令和3年度浅川清流環境組合決算審査意見書

第1 審査の概要

1 審査の種類

地方自治法第233条第2項の規定による審査

2 審査の対象

- (1) 令和3年度浅川清流環境組合一般会計歳入歳出決算
- (2) 令和3年度浅川清流環境組合一般会計歳入歳出決算事項別明細書
- (3) 令和3年度浅川清流環境組合一般会計実質収支に関する調書
- (4) 令和3年度浅川清流環境組合財産に関する調書

3 審査の期間

令和4年6月30日から令和4年9月12日まで

4 審査の着眼点及び実施内容

審査にあたっては、管理者から提出された一般会計決算書及び付属書類について、地方自治法等関係法令に準拠して調製されているかどうか、決算の計数は正確であるか否かを検証するとともに、予算は適正に執行されているかを主眼として、関係書類、帳票類と照合その他通常実施すべき審査手続きにより実施した。

なお、本審査は浅川清流環境組合監査基準に準拠し実施した。

第2 審査の結果

1 総括

令和3年度浅川清流環境組合一般会計の歳入歳出決算の総額は、表1に示すとおりである。

審査に付された一般会計の決算書及び決算付属書類は、地方自治法及び関係法令の規定に従い、会計原則に沿って作成されている。総括的に予算の執行状況をみると、地方自治法及び関係法令等に基づき事務処理がなされ、概ね適正に執行されていることが認められた。

更にこれらの計数についても、関係諸帳票及び証書類と照合した結果いずれも符合し、また出納閉鎖日（令和4年5月31日）現在における令和3年度歳計剰余金と、指定金融機関が発行した証書類とを照合検算した結果、その金額は合致しており、当年度における決算を適正に表示しているものと認められた。

表1

令和3年度一般会計歳入歳出決算総括表

(単位：円：%)

予算現額	歳入		歳出		歳入歳出決算 差引残額	翌年度へ繰り越すべき財源			
	決算額	収入率	決算額	執行率		継続費通次 繰越額	繰越明許費 繰越額	事故繰越 繰越額	実質収支額
1,359,420,000	1,378,255,690	101.4	1,271,419,484	93.5	106,836,206	0	0	0	106,836,206

表2

款別歳入状況

款別	区分	令和3		
		予算現額 (A)	調定額 (B)	収入済額 (C)
1	分負担金及び金	878,776,000	878,776,000	878,776,000
2	繰越金	181,709,000	181,708,430	181,708,430
3	諸収入	298,935,000	317,771,260	317,771,260
	合計	1,359,420,000	1,378,255,690	1,378,255,690

2 一般会計

(1) 歳入決算状況

① 款別歳入状況

款別歳入状況の年度比較は、表2に示すとおりである。

歳入決算額は、13億7,825万6千円で前年度決算額13億9,384万4千円と比べ、1,558万9千円(1.1%)の減少となっている。予算現額13億5,942万円に対しては、101.4%の収入率で前年度107.0%と比べ5.6ポイントの減少を示し、調定額13億7,825万6千円に対しては、100.0%の収入率で前年度と同一である。

年 度 比 較 表

(単位:円:%)

年 度		収 入 済 額 構 成 比	予 算 現 額 対 比 (C)/(A) ×100	調 定 額 対 比 (C)/(B) ×100	令 和 2 年 度 収 入 済 額 (D)	対 前 年 度	
不 納 欠 損 額	収 入 未 済 額					増 減 額 (E) (C) - (D)	比 率 (E)/(D) × 100
0	0	63.8	100.0	100.0	929,404,000	△ 50,628,000	△ 5.4
0	0	13.2	100.0	100.0	74,676,988	107,031,442	143.3
0	0	23.1	106.3	100.0	389,763,493	△ 71,992,233	△ 18.5
0	0	100.0	101.4	100.0	1,393,844,481	△ 15,588,791	△ 1.1

② 歳入決算状況の内訳

款1 分担金及び負担金

歳入決算額は、8億7,877万6千円で前年度決算額9億2,940万4千円と比べ、5,062万8千円(5.4%)の減少となっている。予算現額8億7,877万6千円に対しては、100.0%の収入率で前年度と同一である。調定額8億7,877万6千円に対しては、100.0%の収入率で前年度と同一である。

内訳は、組合構成市負担金で、事務経費負担金が5億7,877万6千円、周辺環境整備負担金が3億円となっている。

各市の負担額は、日野市が事務経費負担金として2億6,334万円、国分寺市が事務経費負担金及び周辺環境整備負担金として3億1,251万9千円、小金井市が事務経費負担金及び周辺環境整備負担金として3億291万7千円となっている。

款2 繰越金

歳入決算額は、1億8,170万8千円で前年度決算額7,467万7千円と比べ、1億703万1千円(143.3%)の増加となっている。予算現額1億8,170万9千円に対しては、100.0%の収入率で前年度と同一である。調定額1億8,170万8千円に対しては、100.0%の収入率で前年度と同一である。

款3 諸収入

歳入決算額は、3億1,777万1千円で前年度決算額3億8,976万3千円と比べ、7,199万2千円(18.5%)の減少となっている。予算現額2億9,893万5千円に対しては、106.3%の収入率で前年度130.7%と比べ24.4ポイントの減少を示し、調定額3億1,777万1千円に対しては、100.0%の収入率で前年度と同一である。

内訳は次のとおりである。

- ・預金利子

歳入決算額は、5千円で前年度決算額1万2千円と比べ、7千円(56.

8%)の減少となっている。予算現額1千円に対しては、502.8%の収入率で前年度1,163.9%と比べ661.1ポイントの減少を示し、調定額5千円に対しては、100.0%の収入率で前年度と同一である。

・雑入

歳入決算額は、3億1,776万6千円で前年度決算額3億8,975万2千円と比べ、7,198万6千円(18.5%)の減少となっている。予算現額2億9,893万4千円に対しては、106.3%の収入率で前年度130.7%と比べ24.4ポイントの減少を示し、調定額3億1,776万6千円に対しては、100.0%の収入率で前年度と同一である。

(2) 歳出決算状況

① 款別歳出状況

款別歳出状況の年度比較は、表3に示すとおりである。

歳出決算額は、12億7,141万9千円で前年度決算額12億1,213万6千円と比べ、5,928万3千円(4.9%)の増加となっている。予算現額13億5,942万円に対しては、93.5%の執行率で前年度93.1%と比べ0.4ポイントの増加を示している。

表3

款別歳出状況 年度比較表

(単位：円：%)

区分 款別	令和3年度				令和2年度				対前年度	
	予算現額	決算額	執行率	決算額 構成比	予算現額	決算額	執行率	決算額 構成比	増減額	比率
1 議会費	5,893,000	4,234,420	71.9	0.3	5,909,000	4,277,036	72.4	0.4	△42,616	△1.0
2 総務費	653,909,000	615,943,968	94.2	48.4	548,871,000	516,568,038	94.1	42.6	99,375,930	19.2
3 事業費	641,420,000	613,044,900	95.6	48.2	697,077,000	676,471,940	97.0	55.8	△63,427,040	△9.4
4 公債費	38,198,000	38,196,196	100.0	3.0	32,154,000	14,819,037	46.1	1.2	23,377,159	157.8
5 予備費	20,000,000	0	0.0	0.0	18,209,000	0	0.0	0.0	0	0.0
合計	1,359,420,000	1,271,419,484	93.5	100.0	1,302,220,000	1,212,136,051	93.1	100.0	59,283,433	4.9

② 歳出決算状況の内訳

款1 議会費

歳出決算額は、423万4千円で前年度決算額427万7千円と比べ、4万3千円（1.0%）の減少となっている。予算現額589万3千円に対しては、71.9%の執行率で前年度72.4%と比べ0.5ポイントの減少を示している。

款2 総務費

歳出決算額は、6億1,594万4千円で前年度決算額5億1,656万8千円と比べ、9,937万6千円（19.2%）の増加となっている。予算現額6億5,390万9千円に対しては、94.2%の執行率で前年度94.1%と比べ0.1ポイントの増加を示している。

款3 事業費

歳出決算額は、6億1,304万5千円で前年度決算額6億7,647万2千円と比べ、6,342万7千円（9.4%）の減少となっている。予算現額6億4,142万円に対しては、95.6%の執行率で前年度97.0%と比べ1.4ポイントの減少を示している。

款4 公債費

歳出決算額は、3,819万6千円で前年度決算額1,481万9千円と比べ、2,337万7千円（157.8%）の増加となっている。予算現額3,819万8千円に対しては、100.0%の執行率で前年度46.1%と比べ53.9ポイントの増加を示している。

款5 予備費

歳出決算額は0円で、前年度決算額と同一である。

③ 予備費充当の状況

予備費の充当状況は、0件となっている。（表4 予備費充当状況表はない。）

④ 予算の流用（歳入歳出決算事項別明細書に記載される流用）状況

当年度予算の流用（歳入歳出決算事項別明細書に記載される流用）状況は、

表5に示すとおりである。

表5

予算の流用状況表

流用元

(単位：円：件)

節 別	金 額	件数	節 別	金 額	件数
1 報 酬			12 委 託 料		
2 給 料			13 使用料及び賃借料		
3 職 員 手 当 等	703,000	1	14 工 事 請 負 費		
4 共 済 費			15 原 材 料 費		
5 災 害 補 償 費			17 備 品 購 入 費		
7 報 償 費			18 負 担 金 、 補 助 金 及 び 交 付 金		
8 旅 費			21 補 償 、 補 填 金 及 び 賠 償 金		
9 交 際 費			22 償 還 金 、 利 子 料 及 び 割 引		
10 需 用 費	29,000	2	26 公 課 費		
11 役 務 費			合 計	732,000	3

流用先

(単位：円：件)

節 別	金 額	件数	節 別	金 額	件数
1 報 酬			12 委 託 料		
2 給 料			13 使用料及び賃借料	29,000	2
3 職 員 手 当 等			14 工 事 請 負 費		
4 共 済 費			15 原 材 料 費		
5 災 害 補 償 費			17 備 品 購 入 費		
7 報 償 費			18 負 担 金 、 補 助 金 及 び 交 付 金	703,000	1
8 旅 費			21 補 償 、 補 填 金 及 び 賠 償 金		
9 交 際 費			22 償 還 金 、 利 子 料 及 び 割 引		
10 需 用 費			26 公 課 費		
11 役 務 費			合 計	732,000	3

※本表は、当該年度の流用のうち、歳入歳出決算事項別明細書に記載のあるものについて示したものである。

3 財産に関する調書

(1) 土地及び建物

当年度末現在における土地及び建物に関する調書については、法令に準拠して作成されており、概ね適正に表示されているものと認められた。

当年度末現在における状況は、表6に示すとおりである。

表6

(単位：m²)

区 分	土地(地積)	建 物											
		木造(延面積)			非木造(延面積)			延面積計					
		前年度末 現在高	決算年度中 増減高	決算年度末 現在高									
行政 財 産	可燃ごみ処理施設	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	14,998.20	0.00	14,998.20	14,998.20	0.00	14,998.20
合 計		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	14,998.20	0.00	14,998.20	14,998.20	0.00	14,998.20

(2) 基 金

基金の当年度末残高は預金収支報告書及び残高証明書等との照合により誤りのないことを確認した。基金の状況は、表7に示すとおりである。

表7

財政調整基金

(単位：円)

区 分	前年度末現在高	決算年度中増減高		決算年度末現在高
		増	減	
現 金	0	90,855,000	0	90,855,000

第3 意見・要望等

浅川清流環境組合は、日野市、国分寺市、小金井市の3市により、ごみ処理施設の設置及び運営等を共同で行うことを目的として、平成27年7月1日に設立された一部事務組合である。

令和3年度は、組合設立7年目となり、可燃ごみ処理施設の本格稼働の2年目である。

歳入決算額は13億7,825万6千円で、前年度決算額13億9,384万4千円と比較すると1,558万9千円(1.1%)の減少となっている。主な要因として、前年度繰越金に1億703万1千円(143.3%)の増加があったが、事務経費負担金で5,062万8千円(8.0%)の減、余剰電力売電料で7,425万4千円(19.2%)の減となったものによる。

歳出決算額は12億7,141万9千円で、前年度決算額12億1,213万6千円と比較すると5,928万3千円(4.9%)の増加となった。主な要因として、財政調整基金9,085万5千円及び組合債元金償還関係経費2,208万1千円が皆増、ごみ処理施設建設環境影響評価事後調査業務委託料が5,822万1千円(75.8%)の減となったものによる。

予算の執行管理については、概ね適正に処理されていた。

施設運営にあたっては、今後も3市の連携を密にするとともに、市民に対して積極的に情報発信を行い、周辺環境に配慮した安全・安心な施設運営に努められたい。